

幅広い分野で土木職員が活躍中！

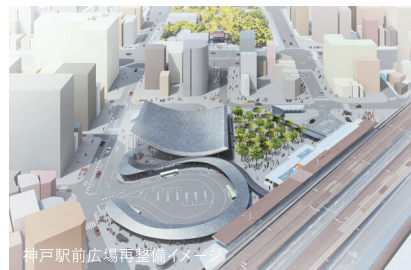
海岸部や山間部、三宮などの市街地、郊外のニュータウンや農村部など、多様な「エリア」での仕事。まちづくり、道路や河川、港湾、防災、上下水道、都市計画や交通政策など、多様な「分野」での仕事。さらに、「ハード」だけでなく公共空間の利活用によるにぎわいづくりなど「ソフト」に関する仕事といった、様々な領域で100年先の神戸を守り、育てる仕事に日々取り組んでいます。

「変わる神戸」、各プロジェクトの中心に

都心・三宮再整備、ウォーターフロント地区の魅力向上、駅周辺のリノベーションなど、まさに今、神戸は新しいまちを創るタイミングであり、そのプロジェクトの中心に土木職員が携わっています。



2030年頃三宮駅周辺イメージ



神戸駅前広場再整備イメージ



神戸空港国際化に向けた取り組み

市民に密着したしごと

政令指定都市であるため、市内の大部分のインフラを直接市が管理しています。そして、市民から最も近い行政窓口であるため、市民の方々と接する機会も多く、様々な意見交換をしながら一緒にまちづくりを行っています。

主な配属先

- ・建設局
- ・水道局
- ・都市局
- ・交通局
- ・港湾局
- など



データで見る土木職員 (2024年4月時点)

土木全体	うち、役職者人数	女性職員の人数
733 名	340 名 (係長級以上)	20代: 24 名
年代別人数		30代: 31 名
354 名 10代～30代	379 名 40代以上	40代以上: 14 名

民間経験者の職員も活躍中！

- Q どの業界からの転職が多いの？
A ゼネコン、建設コンサルタント、メーカーなど
- Q 土木職員全体の中で経験者採用の人ってどれぐらいいるの？
A 約15%

神戸市人事委員会

〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1

神戸市職員採用ホームページ

神戸市 職員採用 検索



TEL **0570-083-330**

または **078-333-3330**

神戸市お問い合わせセンター（年中無休 8時～21時）



メールでの
問い合わせはこちら

2025年2月発行

神戸市職員 職務ガイド [土木]



神戸ウォーターフロント再開発事業



100年先まで神戸を守り、育てる仕事



フラワーロード(山側を見る) 将来イメージ

土木職員とは？

道路や港湾、ライフラインなどの「社会基盤整備」や、駅前再整備をはじめとした「まちづくり」といった、神戸市民の生活を支え、神戸の成長を加速させる事業に携わります。具体的には、様々な事業において、発注者として企画・計画段階から、設計・発注、現場での監督・維持管理業務にいたるまで、とても幅広い分野の仕事を経験することができます。また、市民や数多くの関係者の方々と対話しながら、自らの意見を施策や整備に反映できることも大きな魅力です。



「土木」について
詳しくはこちら

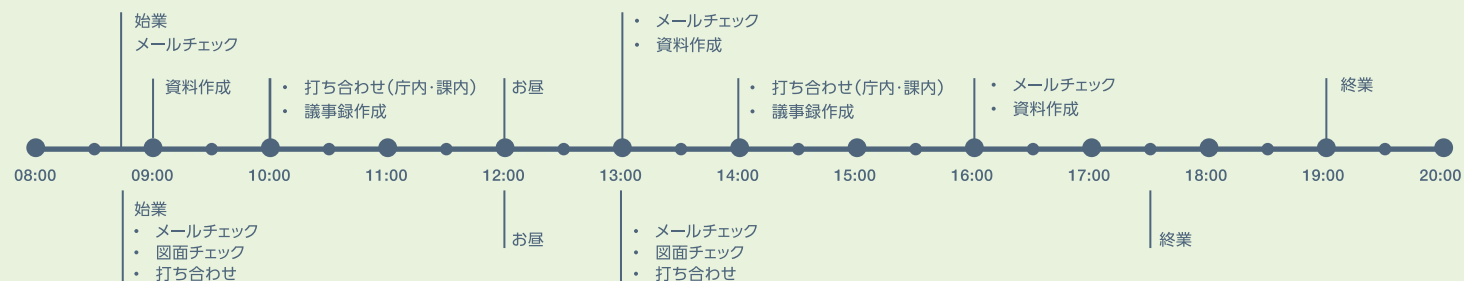
心地良いまちづくりを
より快適で、



こばやし 建設局 道路工務課 小林 あかり | 2023年入庁

街路事業担当として、主に都市計画道路の整備にかかる予算管理や取りまとめの業務を行っています。その中で、関係機関と調整する力がかなり鍛えられたと思います。また、入庁してすぐの頃、事業について市民のみなさんから意見を直接聞く機会があったのですが、自分たちの住むまちに対して真摯に向き合い、意見をくださる姿に、改めて私の仕事が市民のみなさんの暮らしに直結していると実感しました。

街路もまちなみをつくる一部として、歩きやすさや心地良さを感じていただける空間になるように、これからも努めています。



まちの安心を守るために
未来の神戸、



さかきばら ひろと 水道局 技術企画課 榊原 裕人 | 2019年入庁

配水池や浄水場など大規模な水道施設の更新・改修工事の設計業務を担当しています。現在は、三宮などの都心部へ水を送り届ける重要な役割を担う配水池の更新事業を進めています。事業規模の大きさには今でも圧倒されますが、良い経験になっているとともに日々やりがいを感じています。

設計業務を進める上では、関係者の方々と協議を重ねたり、高度な知識が要求される耐震計算について知識を深める必要があるなど、その業務の難しさに、時には頭を悩ませることもあります。私の仕事が、神戸のライフラインを支えていることを認識し、責任感を持って取り組んでいきたいと思っています。



奥平野浄水場



縁の下で形にする、
未来の神戸らしいまち



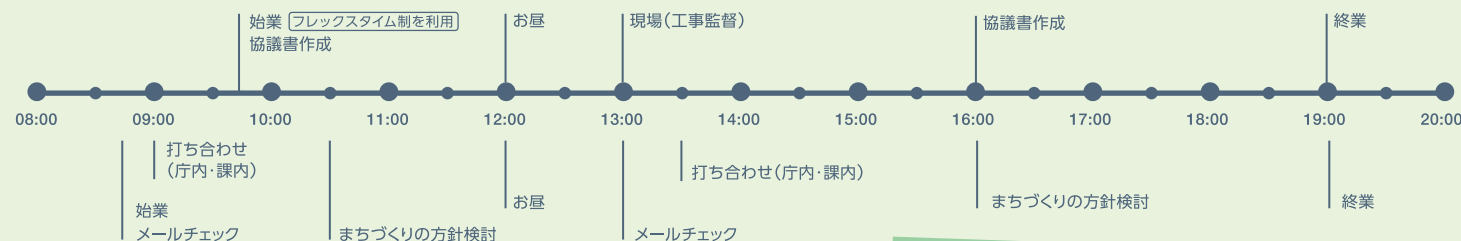
おかざき とものり 建設局 中部建設事務所 岡崎 友典 | 2016年入庁【民間企業勤務経験あり】

大学時代にサイクリング部の活動で日本縦断をし、どこまでも繋がっている道路や、地域別での違いに面白みを感じ、土木構造物に興味を持ちました。土木職員は、まちづくりにおける縁の下の力持ちとして市民のみなさんの日常風景に形が残る仕事だと思います。

現在は、三宮新バスターミナルビルのデッキや元町駅前周辺のライトアップなど、都心・三宮再整備事業に関わる工事監督を担当しています。日々仕事に向き合っていると、これから神戸のまちがどう変化していくべきかを考えさせられます。市民のみなさんが暮らしやすい“神戸らしいまち”を維持することを一番に、変わりゆく時代とともに、神戸の未来を創っていくよう努めています。



三宮駅周辺歩行者デッキイメージ



よりよい暮らしを送るために
まちづくりの基盤となり、



ひづめ ゆうすけ 都市局 都市計画課 係長 樋爪 佑亮 | 2008年入庁

私たちが暮らす安全・安心で快適なまちは、住宅地や商業施設などの土地利用、道路や公園などの配置など、様々なルールの上でできています。私は、その中でも都市計画の基本的な方針である「都市計画マスタープラン」の改定を担当しています。神戸は、都心部、自然豊かな山・海、ニュータウン、農村など、様々な顔を持つおもしろいまち。日々、神戸がどんなまちになると良いかを考え、勉強する時間に費やす時間が最も多いです。

また、休日は子どもと一緒に神戸市内を散策し、まちの魅力を伝える時間を大切にしています。自分達が住む神戸のまちづくりに少しでも興味を持って考えられるような人に育ってほしいと思っています。

